

副市長レビュー（秋）協議事項調書

1 部局名 (課名)	学校教育部 (教育施設課)	
2 協議事項 (案件名)	小中学校プールの再配置について	
3 背景・現状 (現状把握で きる統計数 値など)	・ 築 30 年以上が経過する学校プールが 72%で、施設の老朽化が進行 (法定耐用年数は 30 年) ・ 施設の整備・維持管理・更新に多額の費用が必要 (ライフサイクルコ スト約 700 万円/年) ・ 年間 1 か月程度の使用期間 (6 月中旬から 7 月中旬まで)、猛暑・豪雨 などで年間稼働率が低下 (87%) ・ 施設・水質・児童生徒の安全管理等に係る教員負担大	
4 検討経過・ 課題	・ 市内の民間プール及び市営プールの整備状況調査 ・ 内野小学校実証実験をベースに民間施設活用のメリット・デメリット を検証 (片道 5 km 以内、2 コマ連続実施) ・ 他都市の民間施設活用事例調査 (佐倉市、袋井市、豊橋市等)	
5-1 方向性の 提案 (目指すべき姿)	学校施設以外のプール利用を進め、保有資産の縮減と施設の効率的運用を 図る。	
5-2 上記の方向 性決定に向 け議論する 事項 (妥当性、必要 性、有効性など)	・ 学校プール老朽化の状況や学校外施設 (民間施設、公営施設など) の活 用可能性、費用対効果などを踏まえ、学校外施設を活用したプール授業 を段階的に展開していくことを検討。 ・ 事業展開に際し、プール授業の実施内容や回数の見直し、インストラク ター活用による教員負担軽減など、授業の在り方について再検証を進め る。 ・ 上記 2 つの調整を令和 7 年度前半までに行い、令和 8 年度授業から開始 するスケジュールを想定。	
6 結果	☐ 提案どおり進める ☐ 提案内容を一部見直して進める ☐ 再度、調査研究等を行い検討 ☒ その他	具体的内容
		令和 7 年度春を目途に整理すること
7 その他		